

満足度アンケート 結果発表

先日 利用者の皆さまにお答えいただいたアンケートの集計結果が出ました！
結果はご覧の通りです！

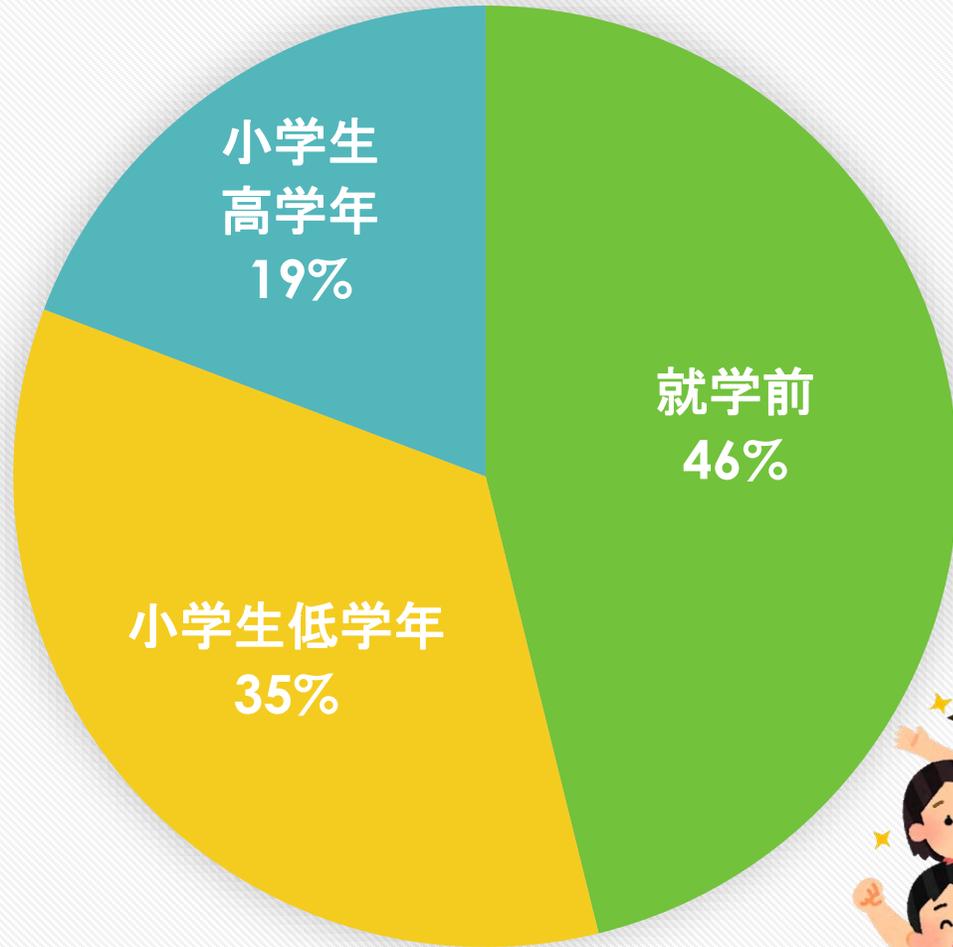
■ 調査要領

- 調査対象:利用者
- 調査方法:アンケート用紙送付
- 調査期間:平成31年2月15日～平成31年3月15日
- 総回答数:26件／利用者数 42名

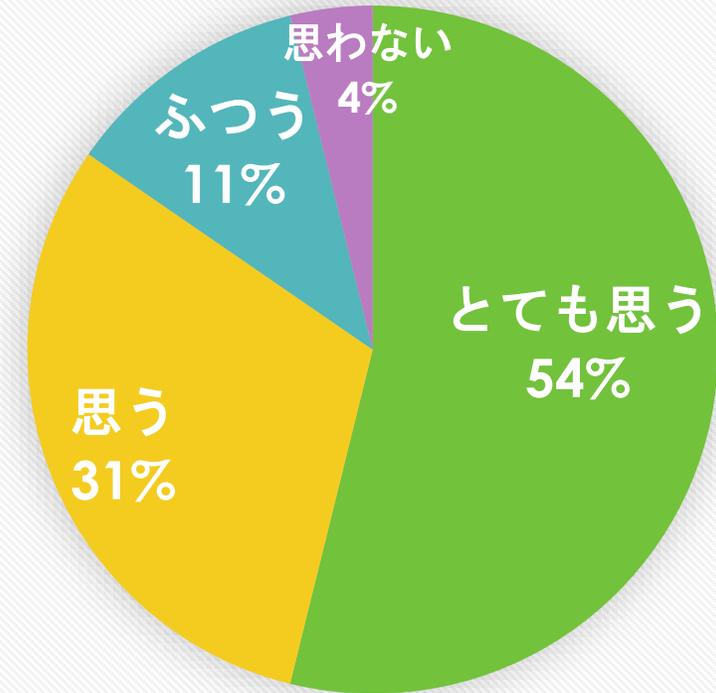




① お子様の年代は？



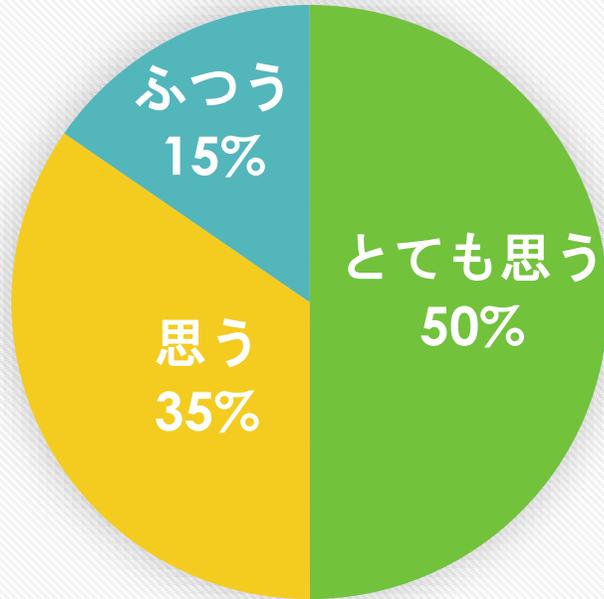
② 支援には満足ですか？



85%の方が支援に「満足」と答えていました。より満足度が上がるようにスタッフ一同支援プログラムをバージョンアップしていきます。



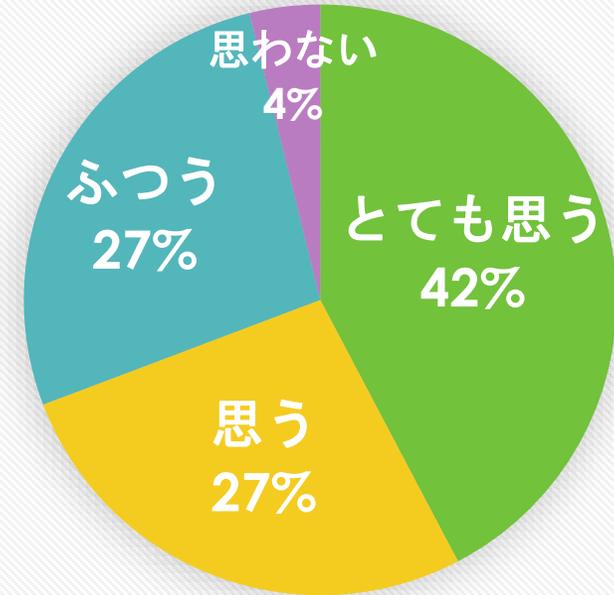
セッションで行う課題は、子どもの発達段階に応じていますか？



85%の方が発達段階に「満足」と答えました。個別の場合は、個々のスキルに応じることを設定していますが、小集団は、他者との社会性という点を重点的に示しています。そのため、「普通」と答えた方がいらっしやっただのではと考えています。



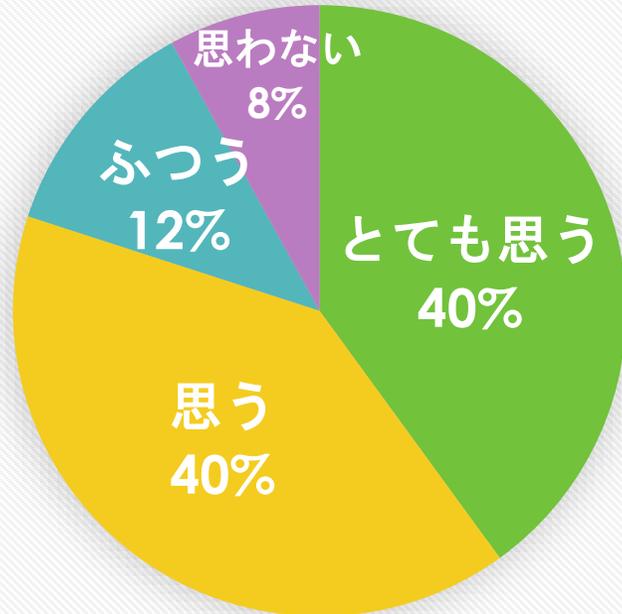
お子様は通うことを楽しみにしていますか？



69%のお子さんが楽しみにしていると答えました。学習効果を上げるためにも、楽しみは非常に重要だと考えています。もっと『おもしろい』と感じれるように今後の支援の中に反映していければと思っています。



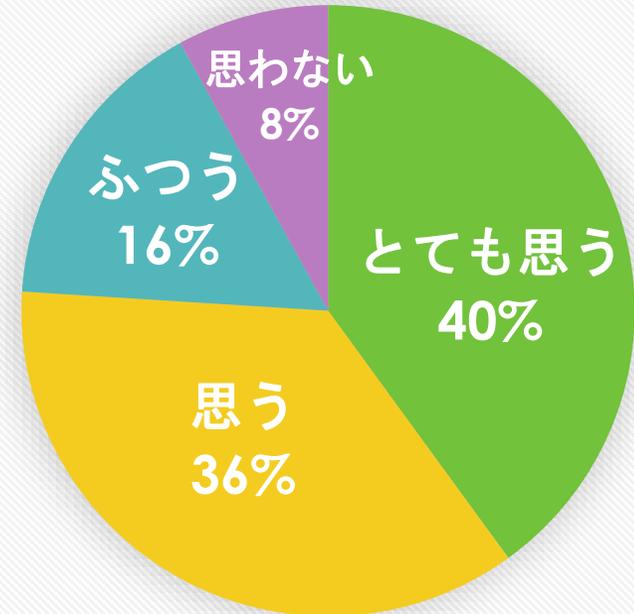
言葉での要求ややりとりは多くなりましたか？



80%の方が要求ややりとりが増えたとお答えでした。コミュニケーションは、社会生活を送る上で重要なスキルです。様々なコミュニケーションスキルを獲得することにより、学びも深め尚且つ困った行動への予防にもなります。



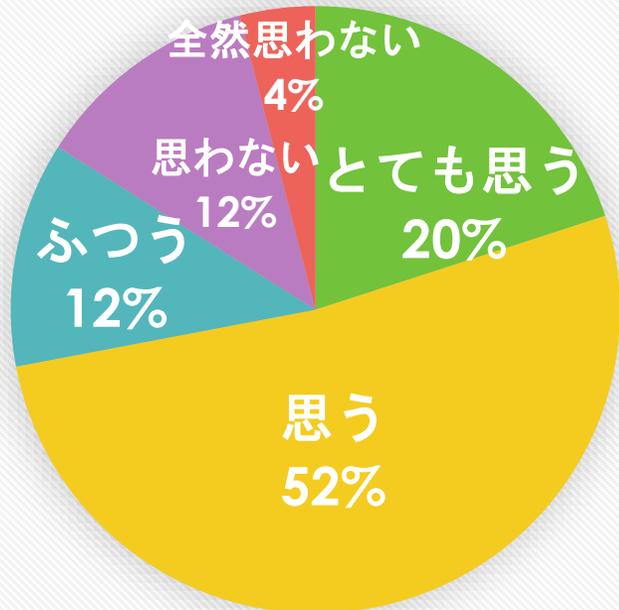
子どもが指示を理解しやすくなりましたか？



76%の方が指示を理解しやすくなったとお答えでした。コミュニケーションは指示を聞くと同時に要求を出すことが重要だと考えています。指示を聞け、要求が出せるよう支援を工夫していきます。



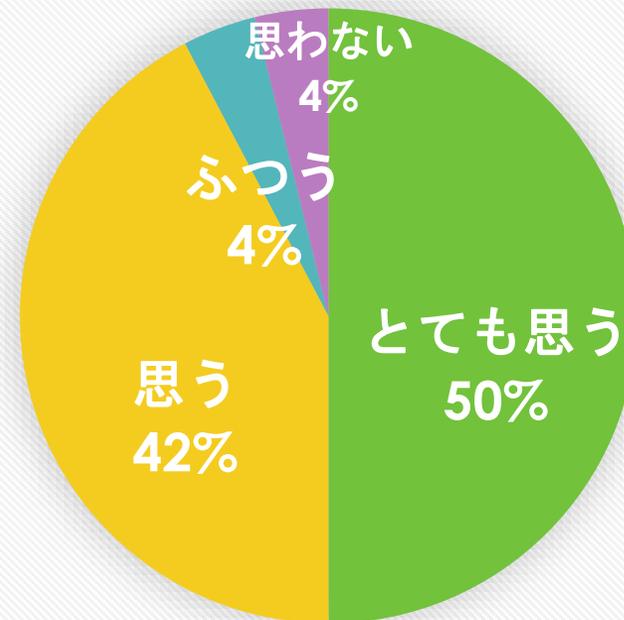
遊びの種類または友達と遊ぶことが増えましたか？



72%の方が遊びの種類や友達とのやりとりが増えたと答えています。発達凸凹のある子は、興味の幅が狭く、また人に興味を抱きにくい特徴があります。幼児期に出来る範囲で興味の幅を広げることが大切です。



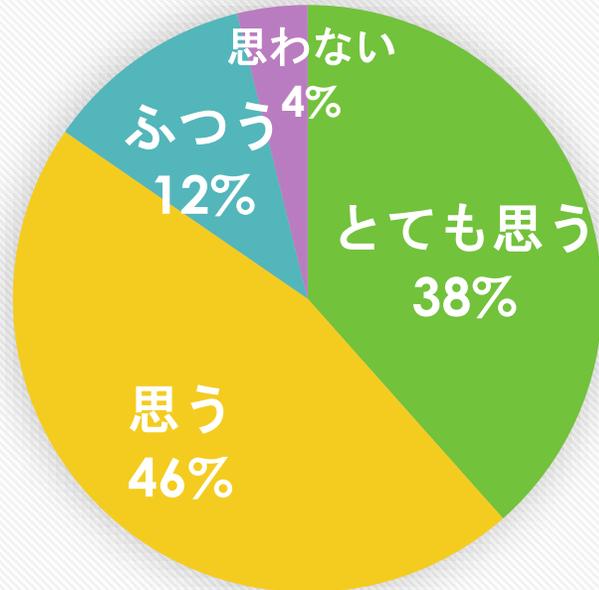
職員は専門的な療育を行っていますか？



72%の方が専門的と答えています。当事業所は心理学の一種の応用行動分析（ABA）を主として発達支援を行っています。今後も科学的根拠のある支援方法を行い、且つ分かりやすいように保護者に伝えていきます。



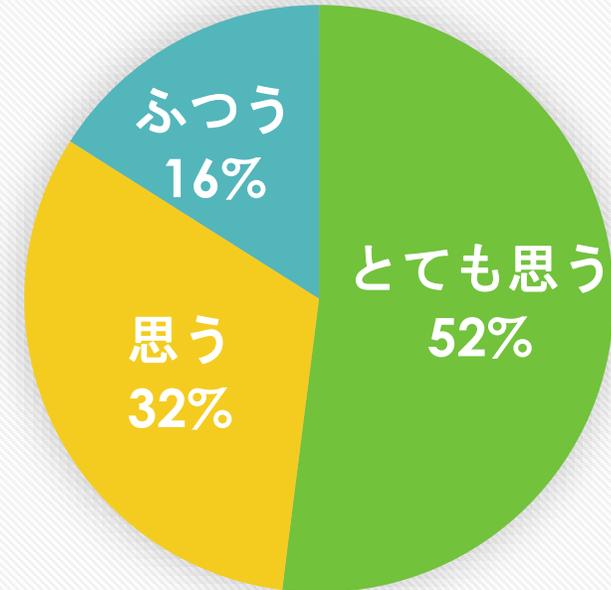
子どもの障がい特性に応じて、環境に対して工夫がされていますか？



84%の方が環境を工夫していると答えています。発達に凸凹がある子は、環境を工夫することで集中しやすいと言われています。そのため、可能な範囲で視覚的な教材を用いています。



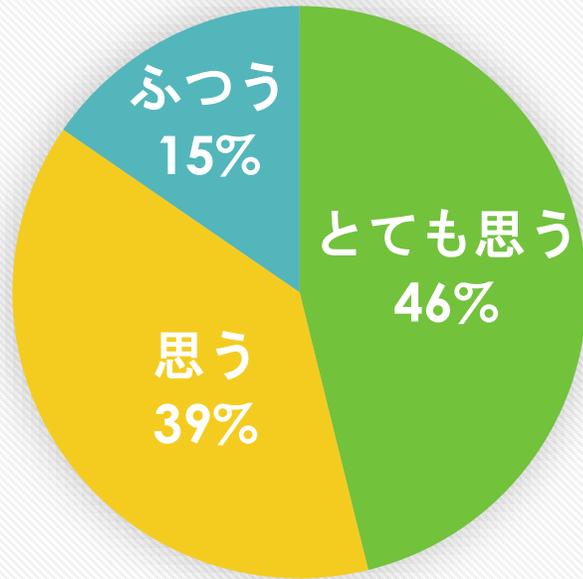
PAKA PAKAに通所することで、発達が伸びたと思いますか？



84%の方が来所して発達が伸びたとお答えしています。幼児期は発達が伸びやすいですが、小学生移行は緩やかな伸びになります。ですが、子どもの成長には終わりはありません。継続して一貫した支援を提供します。



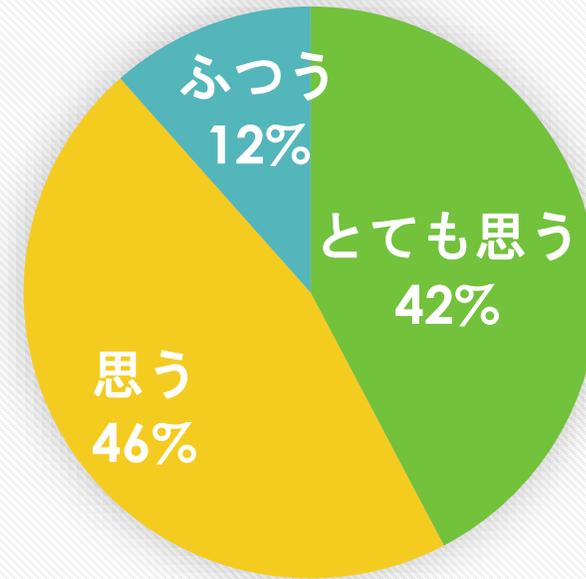
療育についての説明は丁寧にしてもらえますか？



85%の方が丁寧に説明があるとお答えしています。支援計画のみならず、今後発達検査を実施してより細かい発達の強みと弱みをお答えします。



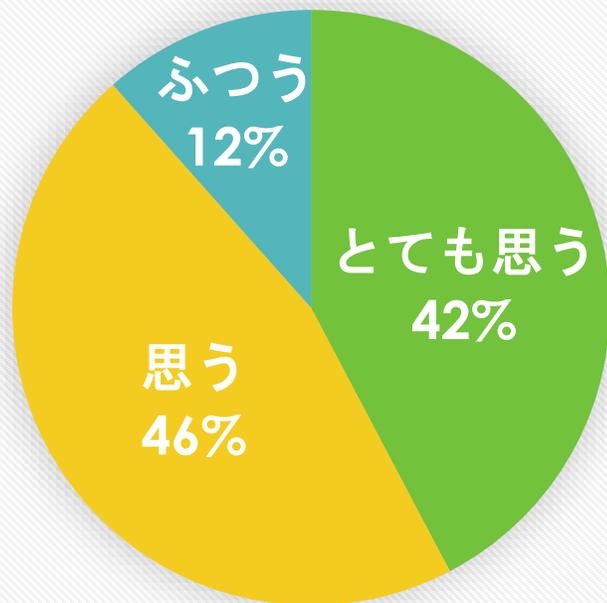
困ったことがあるとき、スタッフに相談・助言をもらえますか？



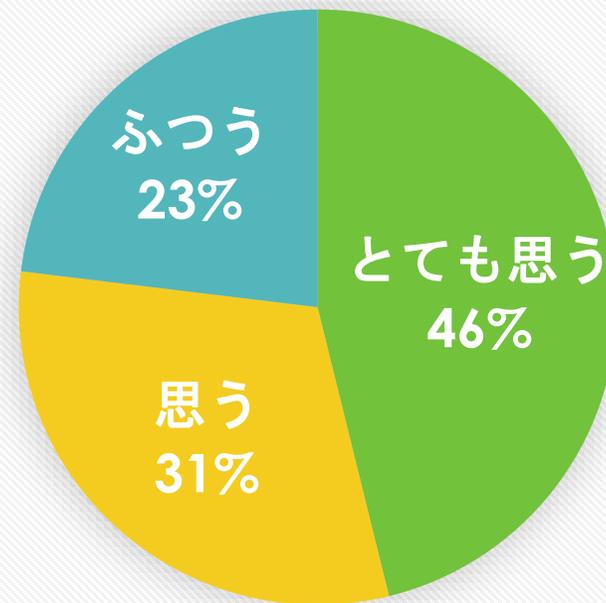
88%の方が相談や助言をしてもらえるとお答えしています。保護者へのお子さんのフィードバックを伝えながら職員の相談援助のスキルを上げるよう研修を重ねていきます。



家庭での子育ての対応または家庭で行う宿題を教えてくださいませんか？



保護者の要望を聞きつつ子どもの発達段階に応じて課題を変更してもらえますか？

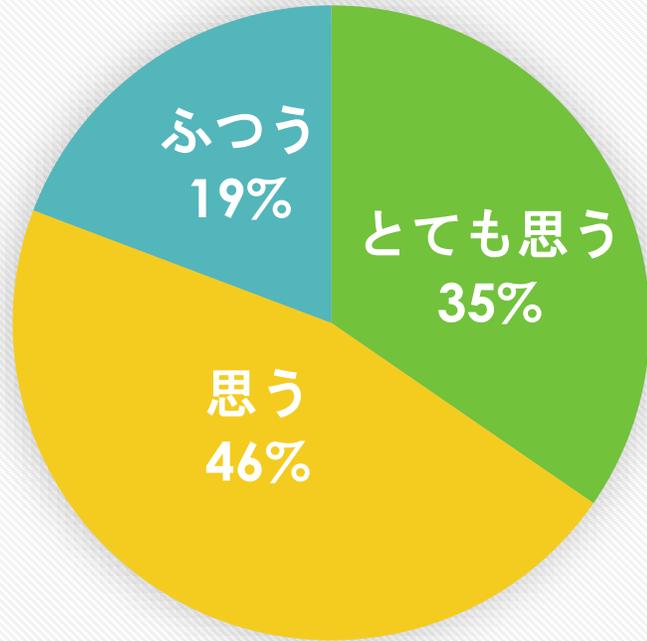


88%の方が、子育ての対応をしてもらっていると回答しています。発達支援は支援者と保護者が協働した方が伸びやすいと言われています。今後も子育て方法を伝える仕組みを工夫していきます。

77%の方が、課題の変更をしてもらえると回答しています。個別の部分は保護者と協働しながら調整を行っています。小集団は、可能な範囲で同じような発達度合い・年齢のお子さんのグループを決めています。



PAKA PAKAを知り合いに紹介したいと思いますか？



81%の方が、紹介したいとお答えでした。幼児期から学齢期・思春期・成人期までと生涯を通して一貫した継続的な支援が出来るように努めていきます。

皆さま、ご協力ありがとうございました！

